

高齢社会の現状を知る

あおいパートナーズ養成講座《第2回》

知る

理解する

そして何をすべきか

目次

一般会計予算(歳出内訳／歳出・歳入の状況)	1
高齢化の進行／年齢別人口割合	2
社会保障に係る費用／年代の変化と医療費介護費との関連	3
国民負担率の国際比較／高齢化率の国際比較	4
介護保険(負担の割合)／居宅サービス利用限度額	5
医療費(年齢階級別医療費)	6
地域包括ケアシステム／24時間対応の定期巡回・随時対応型訪問介護看護	7
参考資料 (年金／生活費／介護職員数の現状と今度の見通し) 高齢者の家族と世帯／死亡時の年齢	8

いざという時のために!! 事前にチェック!

静岡の介護「みなサポ」

老人ホーム料金 物忘れ専門外来一覧 など情報満載!

静岡の

介護情報

知りたい時は「ココ」

みなサポ

検索



インターネットは苦手、調べられない!!
困り事、誰に相談すればいいの?

聞きたい時は「ココ」

相談対応
協力50業種
以上

老人ホーム無料案内、高齢ご家族のお困りごと相談

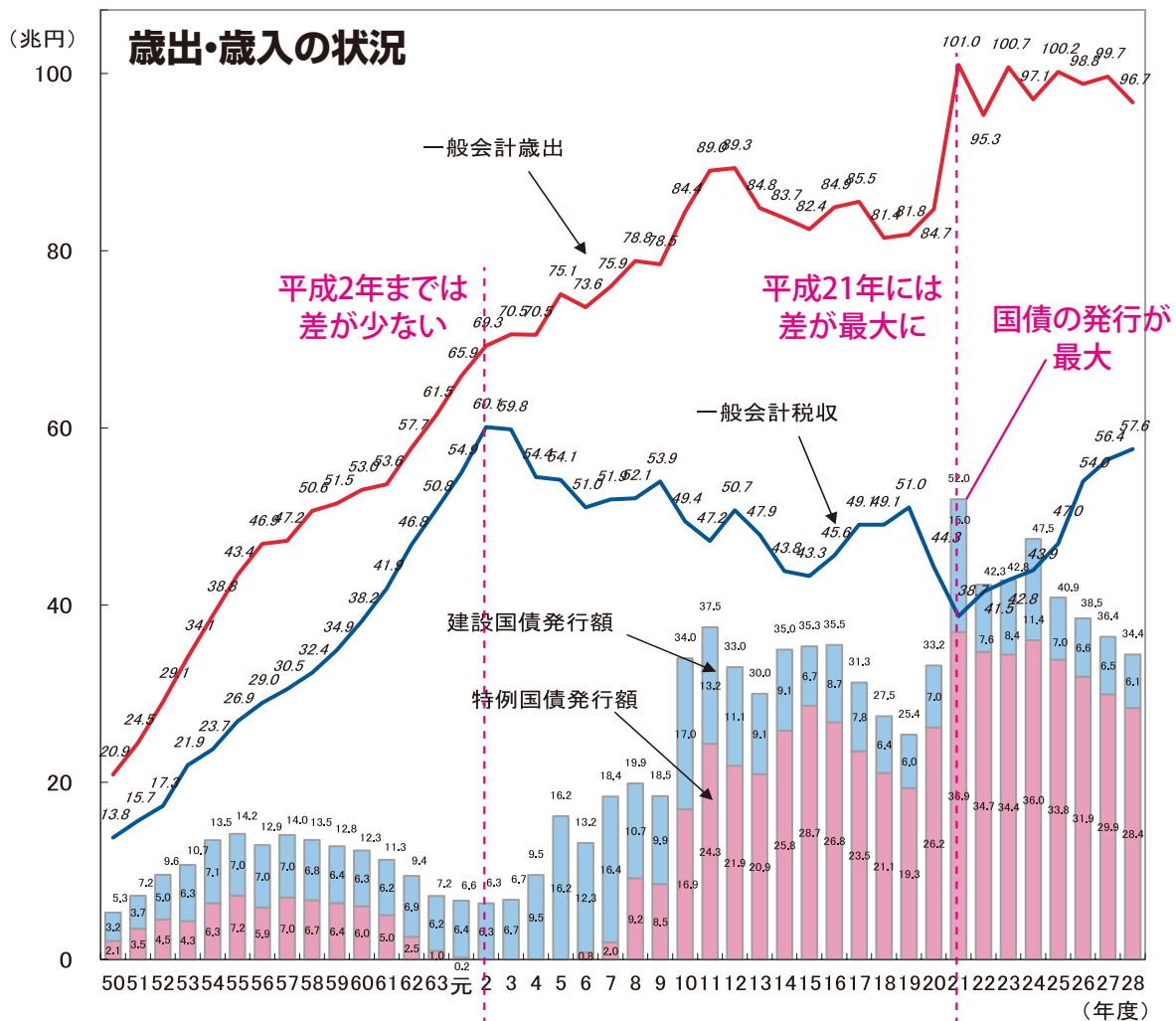
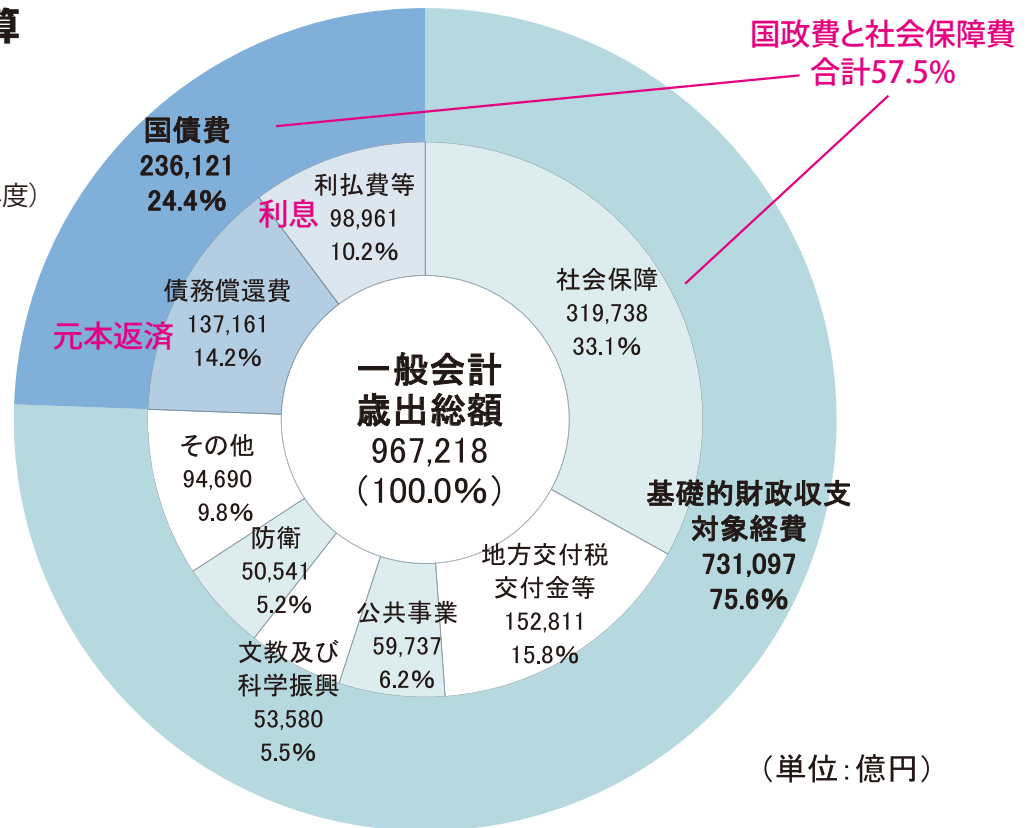
まずは、お電話!! TEL.054-256-1135 みなサポエムウィンド

平日:10～19時、土日祝:10～17時 駿河区東新田2-16-30 サンコーポ池ヶ谷102

平成28年度一般会計予算

歳出内訳

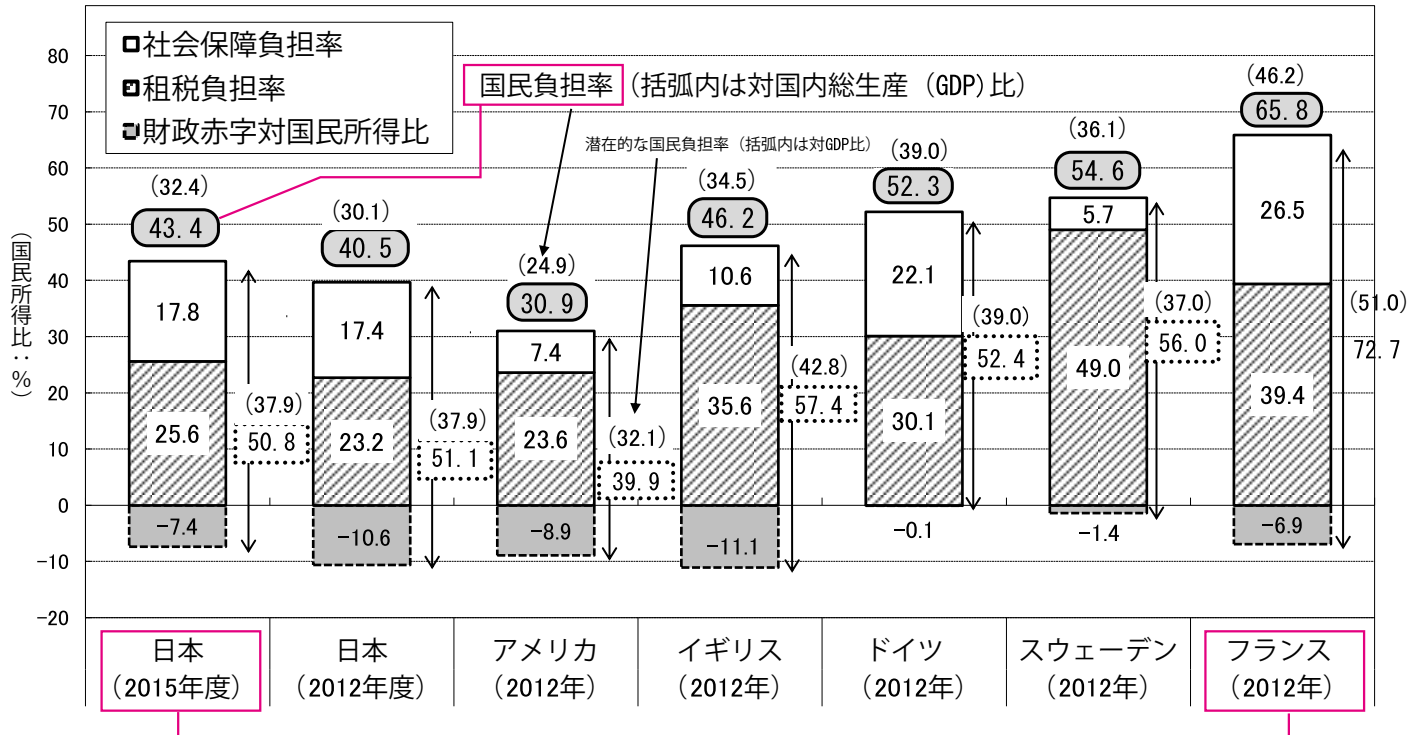
予算案(平成28年度)



国民負担率の国際比較

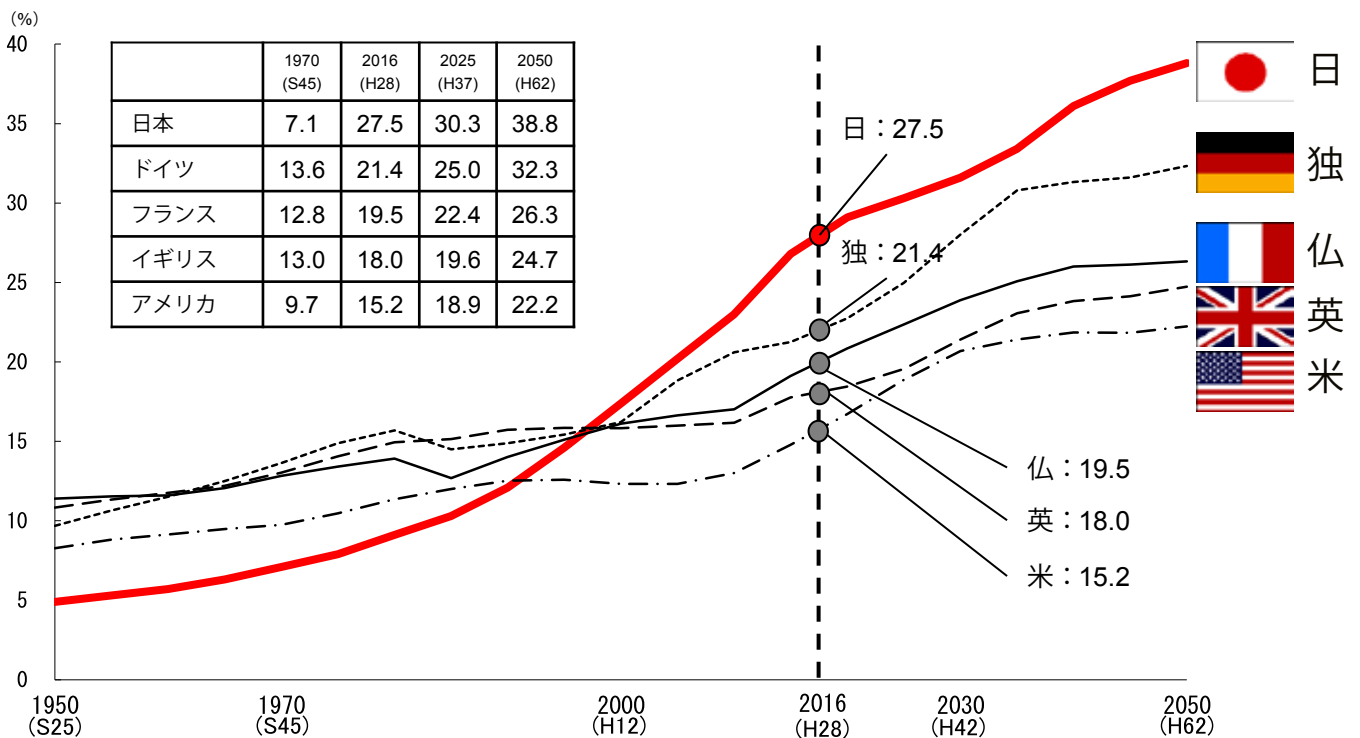
[国民負担率＝租税負担率＋社会保障負担率]

[潜在的な国民負担率＝国民負担率＋財政赤字対国民所得比]



国際比較では、国民負担が大きい訳ではない
しかし
問題は高齢化

高齢化率の国際比較

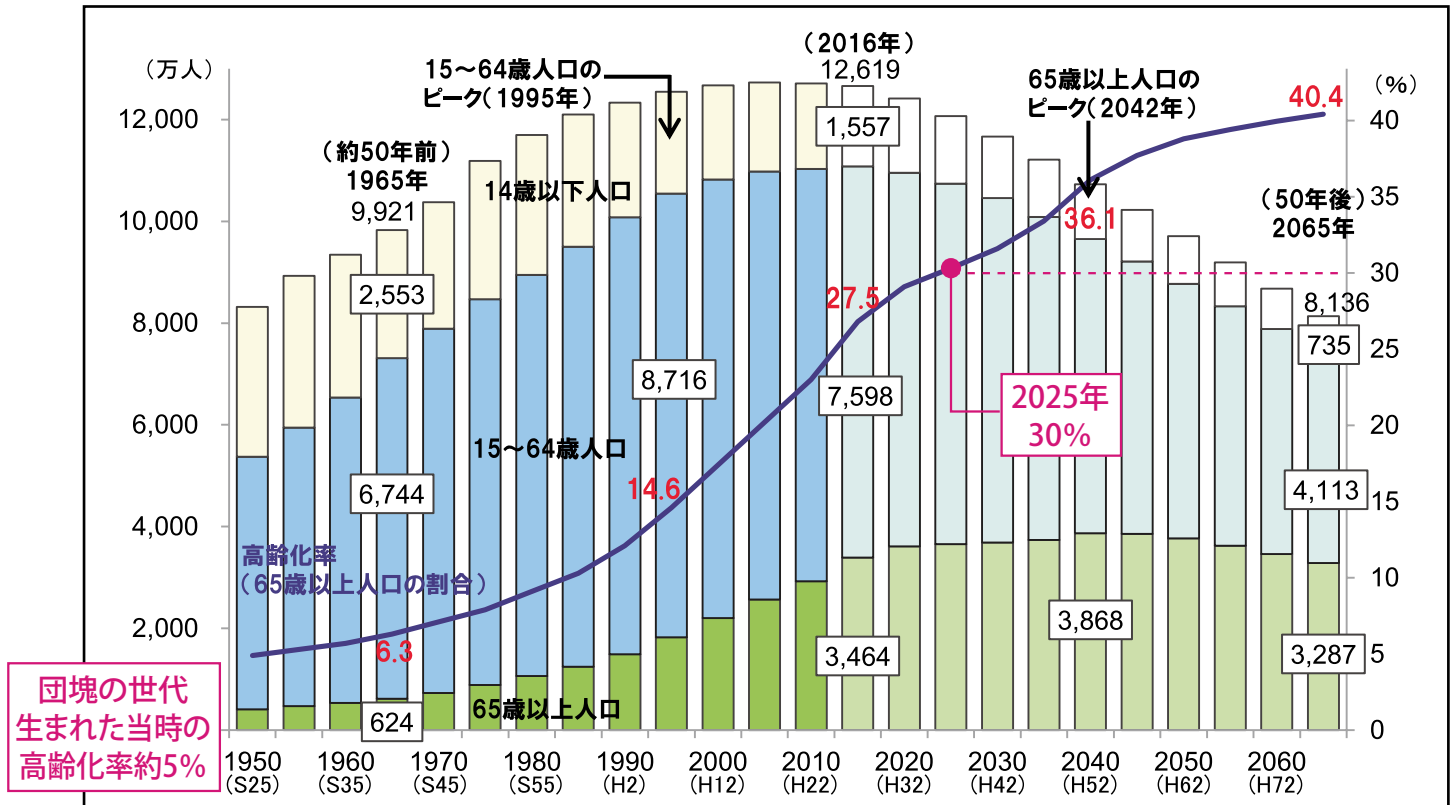


(出典) 日本 ～2010：総務省「国勢調査」

2011～2050：国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口（平成24年1月推計）」

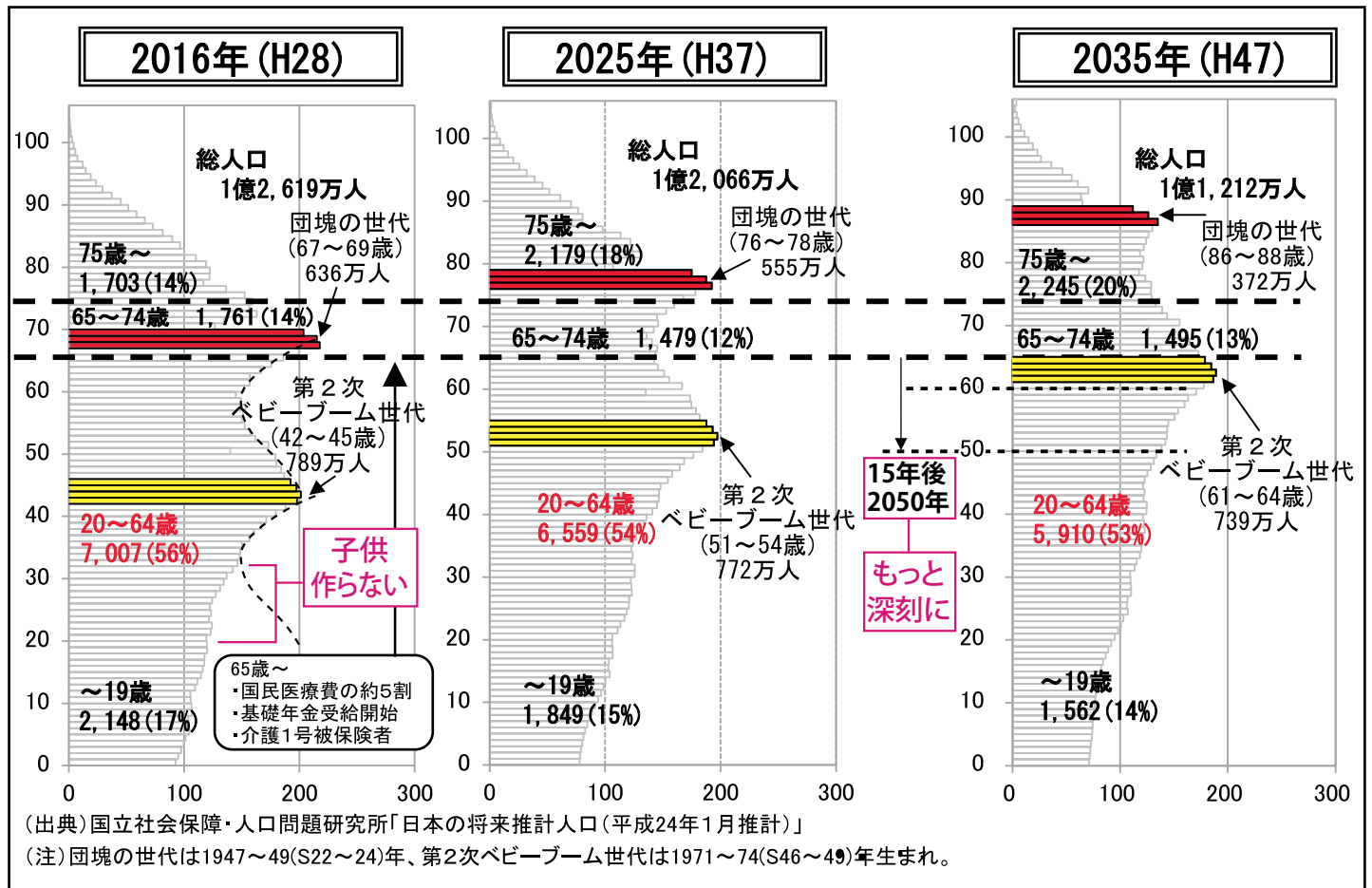
諸外国 国連「World Population Prospects: The 2015 Revision」

高齢化の進行



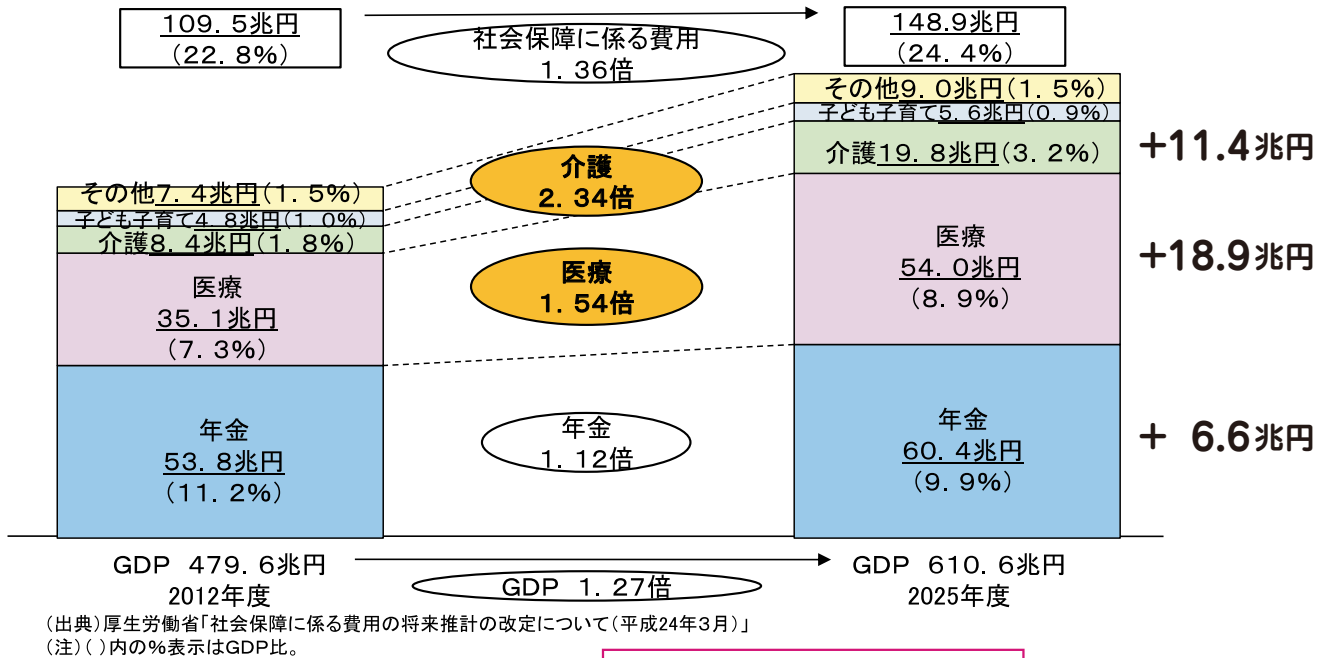
(出典) 総務省「国勢調査」、国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口(平成24年1月推計)」

年齢別人口割合



社会保障費に係る費用

社会保障給付は、高齢化により今後も急激な増加が見込まれます。団塊の世代全員が75歳以上となる2025年に向かって、特に医療・介護分野の給付は、財源調達のベースとなるGDPの伸びを大きく上回って増加していきます。団塊の世代が75歳以上となる前の2020年代初めまでに、受益と負担の均衡が取れた社会保障制度を構築していく必要があります。



何故こんなに増えてしまうのか
高齢化と医療・介護費の関連

年代の変化と医療費介護費との関連

75歳以上になると他の世代に比べ、1人当たり医療費や介護給付費は大幅に高くなり、それに伴って1人当たり国庫負担も増大します。今後、75歳以上人口割合が増えていく中で、医療・介護分野の給付の効率化・重点化に取り組んでいく必要があります。

	全人口に占める人口数及び割合		医療 (2013年)		介護 (2013年)	
	2013年	2025年	1人当たり医療費 (64歳以下 : 17.8万円)	1人当たり国庫負担 (64歳以下 : 2.6万円)	1人当たり介護給付費 (括弧内は要支援・要介護認定率)	1人当たり国庫負担
65～74歳	1,630万人 (12.8%)	1,479万人 (12.3%) ▲約200万人 減る	55.3万円	8.0万円	5.0万円 (4.5%)	1.4万円
75歳以上	1,560万人 (12.3%)	2,179万人 (18.1%) +約600万人 増える	90.3万円	34.6万円 約4倍	47.0万円 (32.1%)	13.4万円 約9倍

(出典) 年齢階級別の人口は総務省「人口推計」、医療費は厚生労働省「平成25年度国民医療費の概況」

介護給付費及び要支援・要介護認定率は、厚生労働省「介護給付費実態調査(平成25年)」、総務省「人口推計」

(注) 1人当たり国民医療費は、年齢階級別の国民医療費を人口で除して機械的に算出。

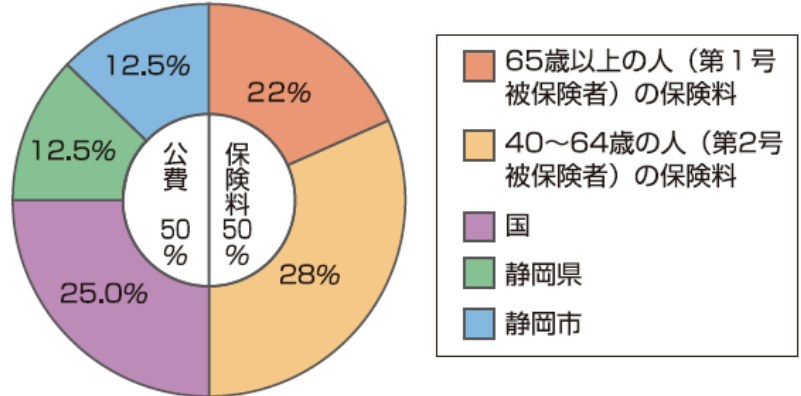
1人当たり国庫負担は、それぞれの年齢階層の国庫負担額(75歳以上は5.4兆円、74歳以下は3.8兆円)を2013年時点の人口で除すなどにより機械的に算出。

介護保険(負担の割合)

介護保険の財源

市が支払う9割分または8割分の費用(保険給付)の財源は50%が国・県・市の公費、28%が40～64歳の人の保険料、22%が65歳以上の人の保険料で賄われています。

保険給付費の負担割合
(ただし、施設給付費の割合は、国20.0%、静岡県17.5%)



同一世帯の第1号被保険者の 年金収入 + その他の合計所得金額	単身：280万円 2人以上：346万円	単身：340万円
------------------------------------	------------------------	----------

居宅サービス利用限度額

居宅サービスの利用限度額

2018.8～3割負担法案

介護度	1ヶ月の 利用限度額の日安(10割)	1割負担	2割負担	3割負担
要支援1	50,030円分	5,003円分	10,006円分	15,009円分
要支援2	104,730円分	10,473円分	20,946円分	31,419円分
要介護1	166,920円分	16,692円分	33,384円分	50,076円分
要介護2	196,160円分	19,616円分	39,232円分	58,848円分
要介護3	269,310円分	26,931円分	53,862円分	80,793円分
要介護4	308,060円分	30,806円分	61,612円分	92,418円分
要介護5	360,650円分	36,065円分	72,130円分	108,195円分

要介護3の場合

1年=3,231,720円

4年=12,926,880円

要介護5の場合

1年=4,327,800円

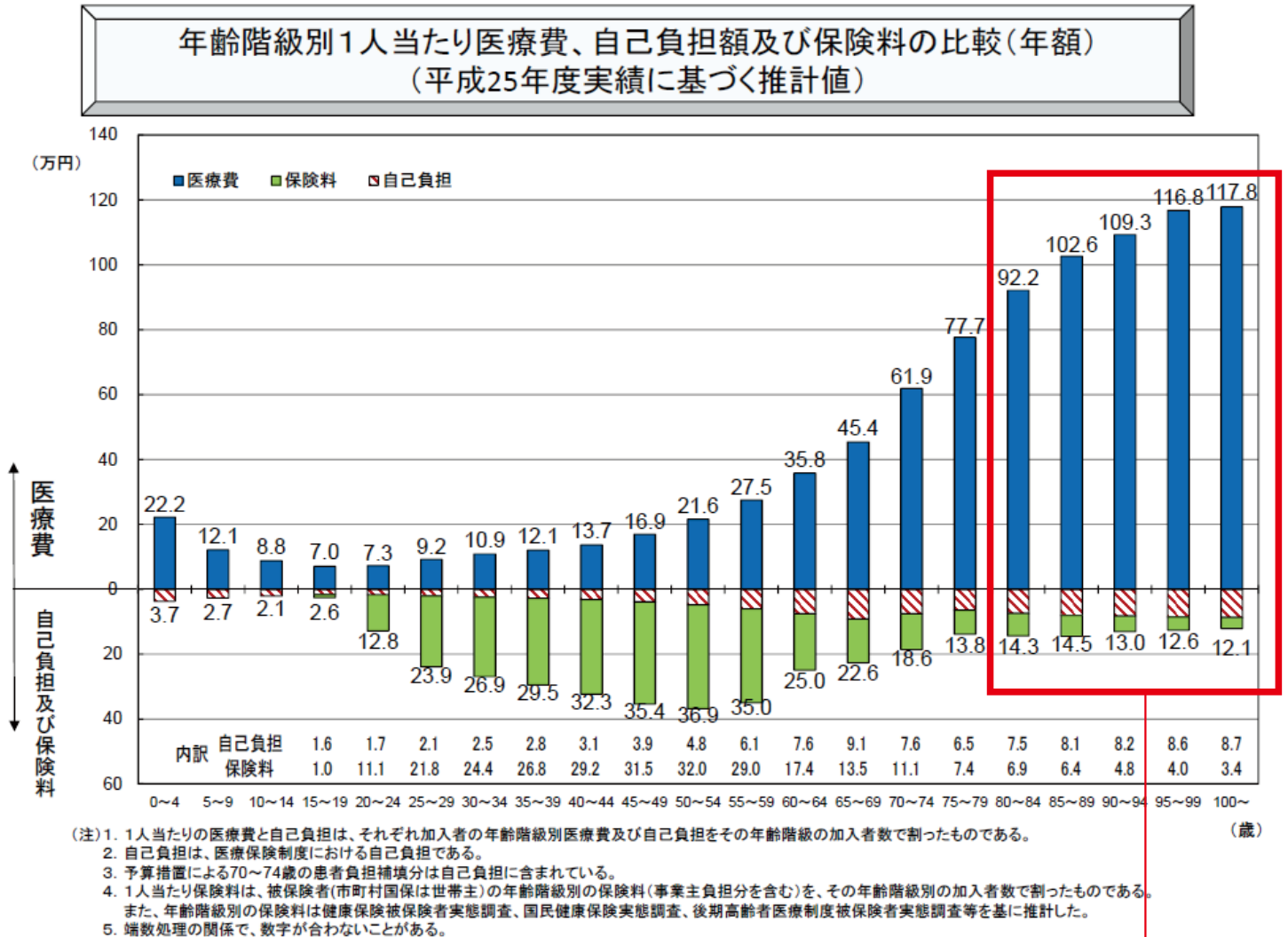
2年=8,655,600円

要介護度別生存率50%より※平均は、この年数より多くなる

健康でいること、要介護状態にならないこと
大きな社会貢献

医療費(年齢階級別医療費)

在宅死＝医師による死亡確認場所。病院搬送は除く。孤独死も計上。



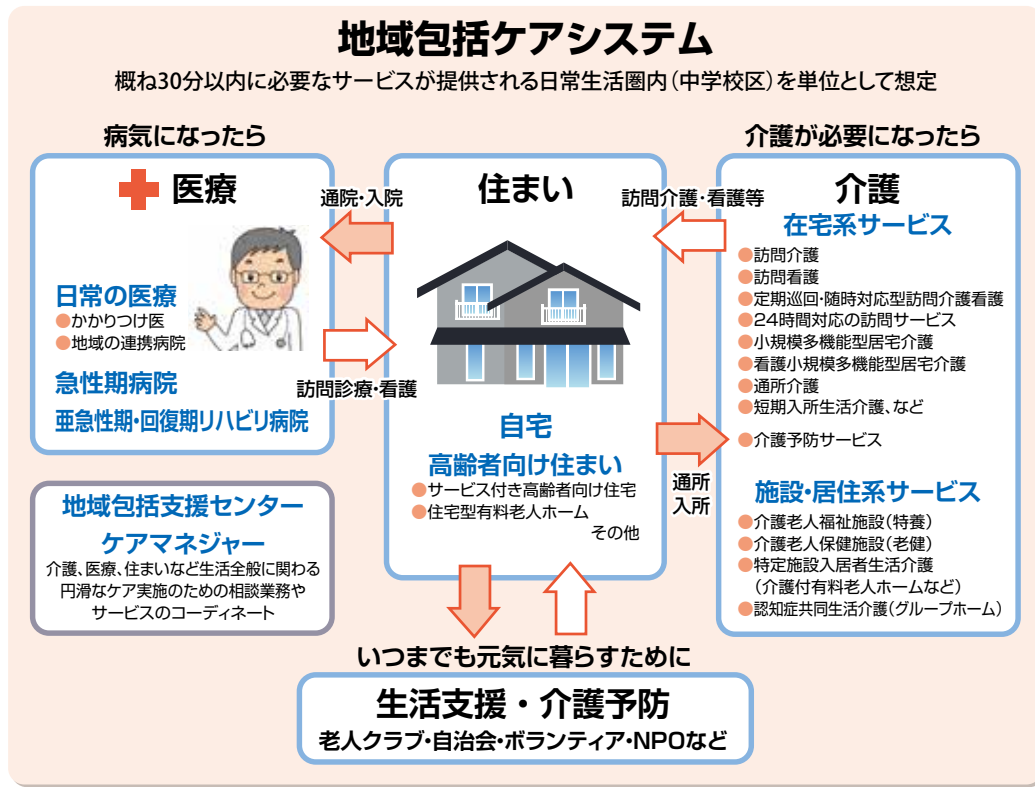
75歳以上の医療費は一人当たり約**100万円**

医療にかからないことは **大きな社会貢献**

介護状態にならない、医療にかからない、そのためには
社会活動に参加、人と接し、話すこと……すなわち
**人のためのボランティア活動ではなく、
すべては自分のため**

地域包括ケアシステム

厚生労働省は、2025年（平成37年）を目途に、在宅介護を基本とした、住まい・医療・介護・予防・生活支援が一体的に提供される地域包括ケアシステムの構築を実現を目指しています。



24時間対応の定期巡回・随時対応型訪問介護看護

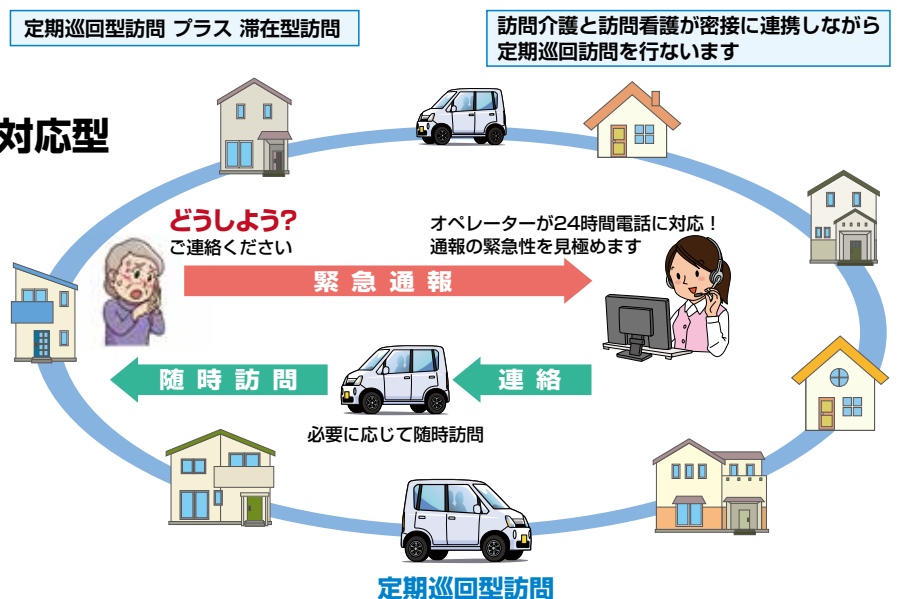
厚生労働省は、2025年（平成37年）を目途に、在宅介護を基本とした、住まい・医療・介護・予防・生活支援が一体的に提供される「地域包括ケアシステム」の構築を実現を目指しています。

しかし重度者を始め、要介護高齢者の在宅生活を24時間支える仕組みが不足しています。

また医療ニーズが高い高齢者に対して医療と介護との連携が不足しているという問題があります。

このような背景から「定期巡回・随時対応型訪問介護看護」が創設されました。

24時間対応の定期巡回・随時対応型訪問介護看護図



資料

■年金

国民年金が月額平均：**54,497**円、厚生年金平均：**147,513**円

◎国民年金の制度上の支給額は年に**772,800**円、月額**64,400**円（40年満額）

※60歳で繰上げ支給を受けると満額で45,506円、実際の支給額38,312円（繰上げ支給で3割減と満額でないため）

◎厚生年金の平均月額は、男性＝**165,450**円、女性＝**102,252**円

国民年金	単身者	54,497 円
国民年金	夫婦	108,994 円
厚生年金	単身者	147,513 円
厚生年金(夫)＋国民年金(妻)		219,947 円
厚生年金	夫婦共稼ぎ	267,702 円～ 295,026 円

65～87歳まで22年間	772,800円×22年＝	17,001,600 円
60歳(繰上げ)～87歳まで27年間	772,800円×0.7×27年＝	14,605,920 円
60歳(繰上げ)～87歳まで5年不足	772,800円×0.7×22年＝	12,415,032 円

■生活費

夫婦の老後に必要な資金は、生活費**27**万円、貯蓄額**2,173**万円（アンケート調査）

平成28年度の厚生労働省発表のモデル世帯の年金額は、平均**221,504**円

◎支出総額 例：**277,884**円の場合

- ・食費 **66,721**円・住居 **15,595**円・水道光熱 **17,506**円・家具家事 **9,659**円・被服費等 **7,052**円
- ・保健医療 **13,930**円・交通通信 **25,639**円・教育 **316**円・教養娯楽 **26,192**円・税金 社会保険料 **46,850**円
- ・その他 **48,423**円（主な内訳－理美容、おこづかい、交際費、嗜好品、諸雑費など）

■介護職員数の現状と今後の見通し

団塊の世代が75歳以上の後期高齢者となる年**2025年度**に必要な介護職員は全国で253万人の見通しで、今後予想される介護人材の増員数と比較すると**約38万人が不足**する恐れがあるということがわかりました。（厚生労働省の推計）

■高齢者の家族と世帯

全世帯のうち、65歳以上の高齢者のいる世帯……………**46.7**%

高齢者だけの世帯……………**26.2**%（夫婦世帯**14.3**%・独居世帯**11.8**%）

■死亡時の年齢

	男性	女性	男女
64歳までに亡くなる方	14.4 %	7.6 %	11.1 %
74歳までに亡くなる方	35.6 %	19.4 %	27.8 %
75歳以上生きる方	50.9 %	73.3 %	61.7 %
90歳以上生きる方	3.4 %	36.1 %	24.4 %

2016年日本人の平均寿命＝**83.7**歳

男性＝**80.5**歳、女性＝**86.7**歳

女性の**36.1**%は**90**歳以上